

【様式】

学校名 南城市立知念中学校	連絡先 TEL : 098-948-1303 Eメール : chichu-kyoutou@edu.city.nanjo.okinawa.jp
------------------	---

タイトル：「一事徹底は知学タイム・家庭学習の充実～基礎基本の定着～」

(1) 実践内容

○知学タイムの取り組み

短時間の集中的な取り組みでくりかえし学習により全ての生徒に基礎的基本的事項の定着を図る時間とし、全職員で指導にあたり個に応じた指導の充実を図る。

○愛汗大志(家庭学習)の取り組み

家庭学習の習慣化と基礎基本の定着を図り、学校と家庭が連携して、各生徒の育成について共通実践をすすめ内容の充実を図ることにより、効果的に学力を身につけることができる。「愛汗大志」とは本校の校訓であり「働くこと(汗)を尊び(愛し)、志を大きく(大志)をもって生き抜いてほしい」という願いと希望が込められており本校の家庭学習帳にはその校訓の名称を命名している。

(2) 具体的な取組

○知学タイム

①実施方法

年間実施計画を作成し週4回、朝の20分間(8:25~8:45)に実施し国語・数学・英語を年間を通して実施する。月末には「知学タイム確認テスト」を設け、学習内容の定着を図る。

②役割分担

国語・数学・英語の担当教師は独自教材を準備し授業を行い、それ以外の教師はTTとして導指導にあたる。

③状況

生徒は「静かに課題に取り組む」ということをしっかり実践できており筆記用具の音だけが教室に響いているという雰囲気である。TTで指導にあたるので沢山の目が行き届き、授業中取り組みが弱い生徒も比較的、先生方のサポートを受けて問題にしっかり取り組むことができている。

④実施方法

年間実施計画を作成し週4回、朝の20分間(8:25~8:45)に実施し国語・数学・英語を年間を通して実施する。月末には「知学タイム確認テスト」を設け、学習内容の定着を図る。

○愛汗大志

各学期毎に家庭学習への取り組みが素晴らしい生徒を表彰している。家庭学習帳を1冊使い切った生徒は校長先生へ提出し修了証と新しいノートをもらう。校長先生はその生徒の「家庭学習帳山登り表」に終了シールを貼りモチベーションが上がるように工夫している。また年間終了冊数を5冊と設定し学年末までに達成できた生徒には目標冊数達成賞を授与している。



(3) 成果・課題、改善策

(成果)

- ①生徒のモチベーションを上げる掲示物は生徒の自己肯定感の向上につながった。
- ②学力向上月間(5月と10月)においては各教科の先生方、担任の先生方の協力により充実した月間にする事ができた。補習学習もスムーズにできていた。(学力向上月間)
- ③知学タイムにおいてはコツコツと課題にむ姿が見られる。普段その教科が苦手な生徒でも先生方のサポートを受けて課題に取り組む姿が見られる。(知学タイム)
- ③知学タイムの時間以外でも自主的に学習に取り組む生徒が少しずつ増えてきている。(知学タイム)
- ④校長室に終了した家庭学習帳を持参する生徒が増えてきている。(愛汗大志)
- ⑥家庭学習年間5冊終了が目標だがすでに17冊終了している生徒がいる。終了冊数を可視化することで生徒のモチベーションが上がる機会となっている。(愛汗大志)

(課題)

- ①家庭学習帳の年間終了目標冊数(5冊)を全生徒が達成するようにいつまでに何冊目を終わらせれば良いのかという目安を生徒が把握していない。(愛汗大志)
- ②生徒の家庭学習に対するモチベーションが上がるようなしかけ作り。(愛汗大志)

(改善策)

- ①年間日数でだいたいの家庭学習終了目安を提示する。(愛汗大志)
- ②素晴らしい内容の家庭学習のコピーを掲示したりモチベーションが上がるような言葉を掲示する。